

金峰山&瑞牆山山行報告

【山行日】2015年 9月19日(土)~20日(日)

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 12,700円

【メンバー】 CL:鈴木、大西、香川、島田、
関、津佐、増田

9月19日(土) 曇り時々晴 瑞牆山荘から
富士見平経由で金峰山を往復し瑞牆山荘泊
岩舟支所 P4:00=瑞牆山荘 P6:50/7:15~富士見
平 8:00~大日岩 9:30~金峰山 12:00/12:50~
大日岩 14:30~富士見平 15:40~瑞牆山荘 16:10

今回の山行は、金峰山と瑞牆山の日本百名山
2座を瑞牆山荘に泊って登ることにした。

シルバーウィークの初日なので、駐車場が空いているか心配だったが、まだ半分以上空いていた。

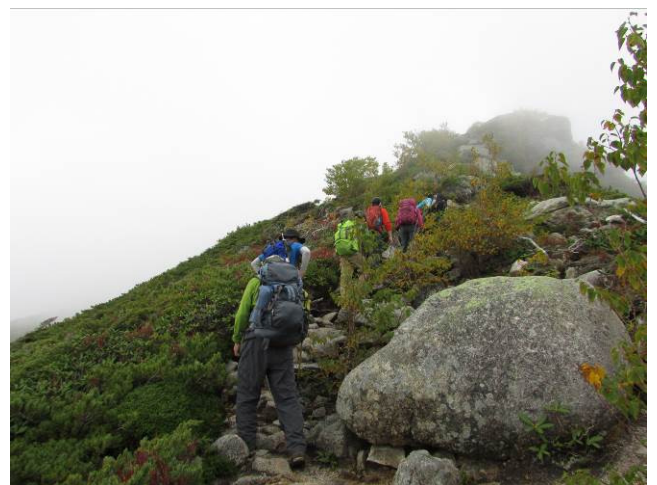


トイレを済ませ、ストレッチを入念にして出発する。駐車場の端から、近道をして登山道に合流する。シラカバやミズナラの美しい樹林の中を、気持ち良く登って行く。林道に出た所で休憩し、衣服調整をする。そこからしばらく急な登山道を登ると鞍部に出、ここから樹間に瑞牆山が望める。

左側の林道終点に止めてある車が見えると、間もなく富士見平小屋に着く。トイレを済ませ、トイレの先から樹林帯の尾根を登って行く。岩が散らばる登山道は、やがて尾根の右側

を辿るようになる。傾斜もだんだんきつくなり、コマツガやシラビソの針葉樹が多くなる。30分くらい

登ると、登山道は緩やかに下り始め、飯盛山の南側を巻くように歩く。鷹見岩分岐を直進し、緩やかに登ると右下に大日小屋が建つ。大日小屋からは、前方に聳える大日岩に向かって急登が始まる。樹林帯を抜けて、大日岩直下を通り岩盤を登り、再び樹林帯に入って少し登ると大日岩の標識があり、ベンチが設置されている。左へわずかに進むと展望が開け、大日岩や周囲の山々が見渡せる。休憩をとり、果物や菓子で水分とエネルギーを補給する。天気は上々で、全員が山頂での大パノラマを期待していた。大日



岩から南東へ尾根を辿り、小山を二つばかり越えて行く。コケむした樹林帯の急登を進み、空が開

けると展望の良い砂払ノ頭に出る。ところが大日岩を過ぎたあたりからガスが掛かり、周りの景色はほとんど見えなくなってきた。ここからは、展望を楽しみながらの尾根歩きのはずだったが眺望はほとんどなし。

おまけに我パーティーが不得手とする、岩稜の尾根歩きにペースダウン。

岩壁が切れ落ちた千代ノ吹上に出ても、下が見えず迫力がいまいちだった。大きな露岩の段差にてこずりながら、慎重に登って行く。

前方に五丈岩が見えるようになり、金峰山小屋への道を左に分け、岩尾根を登ると頂上広場に出た。三角点がある頂上は、大岩をぬっ



て東にわずかに登る。

時折ガスが晴れ、太陽が顔を出すと周囲の視界が開け絶景を楽しむことが出来た。

山頂で記念写真を撮り、山頂広場に戻ってランチタイム。今日の山ごはんはきのこうどんと出し巻き卵。昼食を食べていると、背広姿の若者が五丈岩の前で記念写真を撮っている。

ザックにスーツを入れて来て、山頂で着替え背広姿で五丈岩に登らしい。一人は五丈岩の頂上まで登ったが、他の3人は途中までしか登れなかった。下山は来た道に戻る。岩尾



根の下りも難儀したが、時々ガスが晴れ展望を楽しみながら下った。樹林帯に入るとペースを上げるよう尻をたたき、登りの遅れを取り戻す。皆さん快調に歩き、下りは予定よりも早く降りることが出来た。

瑞牆山荘で、直ぐにお風呂に入り、K氏持参のワインを楽しみながら今日の反省会を行った。

瑞牆山荘の夕食は、美味しいと評判なのでとても楽しみ。ワインを飲みながら、オーナー手作りのディナーをゆっくり味わって、明日に備えて床に就いた。



9月20日(日) 晴れ 瑞牆山荘から富士見平経由で瑞牆山ピストンし、瑞牆山荘のランチを楽しむ
瑞牆山荘 7:00～富士見平 7:45～天鳥川 8:15～瑞牆山 9:40/10:00～天鳥川 11:00～富士見平 11:30
～瑞牆山荘 12:10/13:00＝岩舟支所 P16:20



5時30分に起床し、6時から朝食をいただく。下山後のランチをオーダーし、準備を整えて出発する。今日も富士見峠までは、昨日と同じ道を登って行く。富士見平小屋に泊れば、この上り下りが無くて楽だが、瑞牆山荘のお風呂と美味しい食事に軍配が上がり、往復1時間30分のアルバイトを選択した。

今日は、登山者が昨日より多く登山口から多くの登山者が連なっている。若者のグループは元気で、何組も我々を抜いて行く。富士見平に着くと、テン場は満杯で大勢の登山者が

休憩していた。トイレを借りて、直ぐに出発する。薄暗いコメツガの樹林帯をたどり、飯盛山から張り出す尾根を越えると下りになる。大勢の登山者が連なり、中々前に進めない。天鳥川に降りて、飛び石で渡るとベンチがある休憩所。まっすぐ進むみ、大きな階段を登ると石がゴロゴロとした急坂になる。一枚岩を鎖を頼りに登ったり、大きな岩の間をすり抜けたりと岩が好きな人にはとても楽しい登山道。

木の梯子を登り、岩や木の根、倒木などを縫っての急登が続き、やがて前方に「大ヤスリ岩」と呼ばれる立派な岩塔が現れる。道の傾斜はさらにきつくなり、大ヤスリ岩の右側登るが大きな岩



の段差に難儀する。ハシゴを越すと頂上西側の鞍部に出て、急な登りからやっと解放される。鞍部から右側にたどり、右手の大きな岩を鎖で登って樹間をわずかに登ると瑞牆山の山頂に出る。

頂上は東西に細長い岩盤をなし、南面は岩壁となって切れ落ちている。山頂の標識の前で記念写真を撮り、西側の安全な場所に移動してコーヒータイム。山頂からは、昨日登った金峰山の五丈岩や南アルプス、八ヶ岳、浅間山等の眺望が得られる。眺望を楽しみながら、のんびりとコーヒーを味わって下山する。下山は来た道に戻るが、登山者が次々に登ってくるので中々降りられない。登りの人に道を譲りながら、何とか雨鳥川の休憩所まで降り小休止。



富士見平小屋でトイレを借り、一気に瑞牆山荘まで駆け降りる。瑞牆山荘のレストランで、まずはビールで乾杯し、楽しみにしていたハンバーランチを美味しくいただいた。山荘特製のチーズケーキやソフトクリーム等、思い思いのデザートも楽しみ瑞牆山荘を後にした。